

令和 7 年度 第1回湖南省文化芸術振興審議会 会議録

令和 7 年(2025 年)8 月 19 日(火)に令和 7 年度 第1回湖南省文化芸術振興審議会を開催しました。

事務局：

ただいまから令和 7 年度 第 1 回湖南省文化芸術振興審議会を開催いたします。

本日は、委員 10 名中、出席委員が 9 名で湖南省文化芸術振興審議会運営規則第5条第 3 項に規定する半数以上の者の出席を満たしており、この会議が成立していることをご報告いたします。それでは、開会にあたりまして部長からご挨拶を申し上げます。

(部長挨拶)

事務局：

最初に資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

それでは次第に沿って会議を進めさせていただきます。はじめに会長よりご挨拶をいただきます。

会長：

(挨拶)

事務局：

昨年度の会議でも説明していましたが、本審議会は昨年度の湖南省文化芸術振興会議の委員構成と任期がそのまま引き継がれています。皆様には、残任期間である令和 8 年 2 月 28 日まで委員をお願いすることになります。また、年度替わりで所属団体の構成員変更に伴い、3 名の方に新しく委員をお願いすることになりました。今年度初めての会議でもありますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いします。

(委員の自己紹介)

引き続き、事務局にも人事異動がありましたので簡単に自己紹介させていただきます。

(事務局の自己紹介)

それでは、議事の進行につきましては、湖南省文化芸術振興審議会運営規則第 5 条第 2 項の規定により、会長にお願いしたいと思います。

会長：

まず、湖南省文化芸術振興計画の進捗管理について、事務局のほうから説明をお願いします。

事務局：

湖南省文化芸術振興計画の進捗管理についてご説明いたします。

はじめに、昨年度、委員の皆様にご意見をいただき、策定しました計画本編の完成版と概要版を本日の資料として添付していますので、ご覧になっていただければと思います。概要版につきましては、市民への周知としまして、市のホームページへの掲載と、市内の各施設への配布および配置をさせていただきました。配布および配置した施設は、東庁舎、西庁舎、石部文化ホール、甲西文化ホール、石部図書館、甲西図書館、各まちづくりセンター、各コミュニティセンター、各小・中学校です。

それでは、議事の1、湖南省文化芸術振興計画の進捗管理についてご説明いたします。昨年度の会議でも話に出ておりましたが、本計画における進捗管理について、この審議会にもPDCAのサイクルの「C」のチェックの部分で関わっていただくということで、計画本編の18ページの図のほうにも載せております。毎年、審議会に前年度の実績を進捗管理シート案で報告させていただきますので、このシートをもとに評価やご意見をいただき、次年度の事業に反映していきたいと考えております。審議会の開催の時期としては、前年度の実績がまとまる6月から8月頃を想定しております。なお、審議会の開催回数は毎年この1回を基本に考えており、このときに併せて市の文化芸術の振興に関わる他の議題も審議いただく予定です。ただし、文化芸術の振興に関する重要案件が出てきましたら、臨時で開催させていただくこともありますので、その際はよろしくお願いいたします。進捗管理についての説明は以上でございます。

会長：

まず説明いただきました。なかなかすぐに質問とか意見を言うのは難しいと思います。先ほど、委員の自己紹介の中にありましたが、文化芸術振興に関わっている方が、非常に高齢化して、だんだんメンバーが減っている。これは前回の委員会でも話題になっておりました。若い人あるいは子どもたちをどういうふうに育てるか。今後、これが1つの課題にくるのではないかと考えています。そういう点で何かお考えになっていること、こういう形で進めてはどうか、そういうご意見、ご助言をいただきましたらありがたいです。

すいません、まずは、今の事務局の説明に対して、ご意見やご質問はありますか。

副会長：

進捗管理につきましては、PDCAのサイクルでまわしていくという通常の形で進めるということで理解ができましたが、進捗管理シートを見ると、計画最終年度の令和11年度の目標設定については書かれていますし、この計画を策定したときの令和5年度の基本的な実績数値についても書かれていて、今の段階で出ております昨年度の実績が令和6年度として記入されていますが、今年度1年を通じて、令和7年度がどのような数値を目標として設定するのかという数値が出てきていません。これについては5年という形で計画を推進するのであれば、1年ごとに目標設定をしてお進めいただくのが、一番やりやすいのかなと思いますし、県の審議会、あるいはその他の審議会等にも出させていただいてる中で、進捗管理はそういう形をとっていることが多いので、そういう形でやっていただくのがいいのかなと思います。

この計画については、非常に固い言い方をしますと、市民の皆様と、私ども審議会、あるいは事務局が、5年後の姿をお約束したことになりますので、その約束をどのように達成していくのかということについて、ちゃんと管理し、説明をしていく。その数値にならなかった場合になぜそうならなかったのかということの説明をいただく義務は生じてくると思いますので、そういう意味でも、数値目標は、単年度で作っていただくのがどうかと思います。

会長：

事務局どうですか。

事務局：

進捗管理シートには、令和11年度として5年後の姿を目標値に上げておりまして、ここに向かってどのように伸びていったかを見ていこうということで実績のみの書き方をさせていただいております。今後、目標値を毎年設定するのか、中間年で設定するのか、内部でも協議させていただいて検討したいと思います。例えば、総合計画でも、毎年の目標値っていうのは持っていない場合もあるので、5年後の目標に向かって今どういう位置にいるのかを確認する数値は毎年の実績値で確認していきたいと思っています。

会長：

先ほど説明の中で、この会議は原則として1年に1回ということでしたが、今の副会長の考え方を考慮すると、1年ごとにこういうことを実現したらどうかっていう会合が必要になってきて、そうすると今日だけで終わりでは、ちょっと曖昧に終わってしまうんじゃないかという恐れが出てきます。特に学校の先生もここに参加しておられるので、先生の意見も聞きながら、今後どういうふうにするのかということはこの委員会で議論する必要があると思います。その辺、他の委員の皆さんのご意見はいかがですか。

委員：

文化ホールの事業は動いているわけです。その計画をひな壇に載せて、どこが足りませんかっていうのであれば、やりやすいと思いますが、何もない状態で決めましょうっていうことは、あまりにも文化施策が受け身なのかなと思います。だからもっと積極的に、予算要求はそこまで来てるわけですから、例えば7年度はこんなことやっていきます、8年度はこんなことやりますという何か具体的な案があってしかるべきかなと思います。

会長：

大事な意見をいただいたと思います。その辺をちょっとまた、お考えいただく必要があるんじゃないかなと、この会議をもう1回やるかどうかも含めてね。

委員：

先ほどの委員の意見に近いかもしれませんが、毎年実績でこういう数字になりました、頑張りましたというだけではなく、その目標数値に届かせるために、例えば昨年度はこんな新しい事業の取り組みをしたとか、あるいは、なかなか予算のこともあるので思い切ったことはできないと思いますが、来年度に向けてこんなことをしていくということが、単に実績とか目標の数字が良いか悪いかというよりも、具体的にその数値にまつわるどんな努力をしたかったということも併せてモニタリングすることが大事なと思います。そういう意味では、毎年目標を作るよりも数値を見比べながら、いかにそれに到達するために何をしたか、あるいは次に何をしようとしてるか、そういうところを審議会でモニタリングして、それを踏まえてご意見を言うことが大事なと思いました。

会長：

では、お一人ずつ、ご意見を伺っていくことにしましょう。

委員：

最近の文化ホールの催し物にYouTuberで活躍しているピアニストが多く、そのときは結構たくさん入ったような気がします。あと声優さんによる朗読劇のときは、「推し」と言われる若い人たちが、甲西駅からずらずらと来られて、私たちが場違いなところに来たみたいな感じで、甲西文化ホールがすごく珍しい雰囲気だったと思います。今年は文化ホール友の会を脱退してしまったのですが、ステージ数がやっぱり少ない。みんなが来たくくなるような催し物って大事ですね。それをどんな人たちを対象に、どんなものを呼ぶかっていうのはすごく大事だと思いますし、もっと観客も増えるのかなという気はします。

委員：

先ほどの委員の提案にもあったように、具体的なものを出していただいて、それに肉付けをしていくという考え方が大事なことだと思います。

今ここで、こういう目標とかこういうことをやりたいとするのは、大人は案として出てきますけれど、子どもらはそれでいいのか。大人から言われたことに子どもが参加するというのと、子どもから大人に提案を受けられる場があるのかという、それをどれだけ吸い上げられるかということも大事なと思います。やっぱり子どもらからの意見、要望はやる気を起こすので、子どもらの意見は大事にしていきたいというのはあります。

委員：

今日の会議で、もう1年が終わって良いのかなというのは感じております。やはりプランを立てて、「DO」があって、その「DO」の中でどんな課題があるのかをこの審議会で共有して、チェックして次のアクションを起こしやすいような意見につないでいかないと、なかなか改善しない、また良いアクションができないと感じます。そういう意味では、課題を共有できる場がもう1回か2回あっても良いと思っています。

委員：

社会教育委員とか市の他の審議会にも参加していると思いますが、多分その仕事のやり方は、市の職員さんあるあるだと思います。社会教育委員や生涯学習審議会でもそんな感じです。審議がしたいから、審議できる資料を提示して欲しい。目先の1年とかの単位でのPDCAはそれでいいですが、例えば、人を育てて、子どもたちが文化芸術に親しみを持つようになって、それで大人になったときに、子どものとき、こういう経験ができたから自分の子にもこういう経験をさせたいと思って、どんどんつないでいくというのは、大体20年ぐらいのサイクルが必要になってくる。市のそういう文化芸術の政策に対するテーマみたいなものを、策定してから10年後20年後のことを考えるのではなく、20年後はこういうものがあって、10年後はこうで、ここ数年の5年間の間は、毎年毎年テーマを決めてやっていくみたいな感じではないのでしょうか。策定されてから、毎年毎年考えていく感じなのではないでしょうか。ただ計画を立てただけみたいな感じがすごくします。資料も何かしらないと審議ができないというのも一つだし、10年とか20年とかの大きい単位で見たときに、湖南市さんはどう考えておられるのかなというのを私は今日ここにきて知りたかった。

会長：

先ほど子どもたちのことが、ご意見として出ました。与えられたカリキュラムで子どもたちがやっている。ある種の自由度が、そういう中でそがれるのではないかという心配が意見としてありました。湖南市は、他市に比べて、非常に子どもの自主性を重んじる教育を進めているところで、子どもたちがなるべく自由に発言ができたり、自分の意見を言えるような教育に力を入れている市でもあると、私は教育委員を務めていていつも感じております。その点で湖南市は小学校、中学校ともにコミュニティスクールになっていて、子どもを先生だけじゃなくて、地域の人もいろんな形で育てていくという形をとっています。そういう中で文化芸術というものを子どもたちが、実際に自主的にどれだけ楽しめるかということが、これからますます我々湖南市の大人がサポートしていく必要が出てくると思います。

委員：

今、会長がおっしゃったように学校の教育も、一律のものから子どもたちが選べたりとか、自分で決定していく力をつけていこうという動きがあって、授業のあり方も徐々に変わってきている状況があります。こういった施設と地域とが協力することで子どもたちのしたい思いであったりとか、自分でやってみたいという気持ちを実現できるようなイベントであったりとか、そういう機会があると、子どもたちの学習もより良いものになっていくと思うので、子どもたちにとっても魅力的なイベント等が開催していただけるのであれば、子どもたちもどんどん文化ホールに行きたいなという思いも高まるのかなあと思います。

単純に今日のこの会議ですが、事務局からもう少しねらいであったりとか、こういうことについて意見が欲しいってことを教えてもらえると、我々も意見を言いやすいと思うので、お願いしたいと思います。

副会長：

湖南省文化芸術振興計画を昨年 1 年余りかけて策定させていただいて、これが第1回目の会議です。なので、これを使って、どういう形でこの審議会が役割を果たすのか、ということをも整理をしていただいた上で進めないと、当然いろんな意見が出てしかるべきだと思います。そういう形の中で、先ほど委員がおっしゃったみたいに、具体的にどうすれば良いのか、ちょっとわかりかねているところがあるので、事務局でもうちょっとそこを整理して説明していただいたほうがいいのかと私も思います。

事務局：

すいません。いろいろご意見ありがとうございます。昨年度策定をさせていただきまして、今年から計画が始まったところです。計画が今年から始まりましたので、数値としてまだ何も持っていない状況もあり、今回は進捗管理シートの案につきましては、こういう形で作らせていただきました。今年度の結果が年度末には出ますので、それをまた来年見ていただいて、そこで次年度に活かせるご意見をいただきたいと考えております。

また、皆様には、今湖南省が何をしているかがわからないというご意見とをいただいていると思います。それについては申し訳ないです。今回は資料が付けられていなかったの、次は資料も準備していきたいと思います。すいませんでした。

事務局：

事務局としても、昨年、皆さんのご協力によって、この振興計画を策定させていただいて、それをどう進めていったらいいのか、ちょっとまだ迷ってる部分も実はございます。ですから、ただいまご意見をいただいたように、この振興計画に基づいて目標設定をして、それを達成するためにどうしていけば良いかということについて、お集まりの専門の皆様からご意見をいただいて、それを事業に反映していくという形を取ろうとすれば、おそらく今からですと、令和 8 年度の事業計画のたたき台を示させていただいて、ご意見をお伺いして、事業として実施していく。それをまた翌年度に検証しながら、次年度の計画を専門の皆さんにご意見をお伺いしながら、事業プランを練っていくということを進めていけば、5 年後に目標が達成できればと思います。先ほど原則 1 回とご提案をさせていただきましたが、場合によっては2回させていただいたほうが、よりご意見をいただいて、次年度計画に反映ができるのであれば、それも一つかなと思いました。できれば皆さんから、この会議の持ち方でもご意見をいただきましたかったところですので、貴重なご意見をいただいたと思っております。

会長：

私自身もそうですが、皆さんの意見からしても今日でもう今年は終わりっていうのは、ちょっと具合悪いなと思います。やはり今年度、現状で今どういう形がとられているかということをもう一度把握して、実際に行われていることと、今後課題としてこういうことがなされるべきだということ、これは、これまでの会議でいろいろ議論されてきました。例えば、計画の 2 ページ目に計画で対象とする文化芸術の範囲があります。これはこの委員会ですら議論して、従来のいわゆる芸術文化という形

で理解されているもの、あとはそこには入っていなかったより広い意味での文化芸術ジャンルを取り入れていて、非常に広い範囲です。ですから、こういうふうなものを踏まえた上で、どういうことが実際湖南省市でできるか、いろいろ考えることができると思います。その辺、ちょっとまとめて、ここで議論してどういうふうに進めたら良いかということぐらいまでは話し合っておいたほうが、計画が具体的に第一歩になると私は思います。

事務局：

今回、この審議会も第 1 回目ということで、私ども事務局のほうも本当に手探り状態でどういう形で進めていこうという、本当はちょっと勉強不足なところも正直ございます。先ほどから皆様からご意見をいただいております、その一言一言が今後の文化芸術の振興の道標になっていくのかなと思っておりますし、やはりこういういろんな分野からお越しいただいてる皆様のご意見というのが大変重要だと考えております。今年度何とか 2 回目を開催させていただいて、なおかつご意見いただいております、事業計画であつたりとか、いろんな材料も準備をさせていただいた上で、今後進めて参りたいと考えておりますので、また今後もよろしくお願いいたします。

会長：

事務局としてはご苦勞ですけども、その部分を少しご努力いただけると良いと思います。他の委員の皆さん、何かこの点に関して、ご意見なり注文なりございますか。

副会長：

令和 7 年の 1 月で、この審議会の運営規則が定まっていると思いますが、手元がないので、お配りいただいた上で確認していったら良いのかなと思います。この委員会がどのような性格のもので、何をするとこらだつていうことが、定義としてははじめから書かれているので、そこを読めばある程度、私たちが求められていることもわかるのかなという感じはするので、ご準備いただけたらなと思います。

会長：

このご意見について事務局いかがですか。

事務局：

すいません、ご意見ありがとうございます。私は手元に持っていたのですが、皆様に資料としてお配りはできてなくて申し訳ございません。ちょっと急いで今コピーをとらせていただいて、再度ご説明をさせていただきたいと思います。

委員：

ちょっと聞いてもいいですか。文化ホールの年間利用者数が載っていると思いますが、年齢の比率はわかりますか。例えば、さっきも高齢者の方が利用されてという話があったと思いますが、それ

だったら高齢者の方はどれぐらい来ていて、子どもたちはどれぐらい来ているとかがわかれば、どこを増やしていったら良いかとかわかってくると思うので、そういった資料もあれば、ありがたいなと思いました。

事務局：

すいません。文化ホールの年間利用者数ですが、年齢までの統計は取れておりません。ただ事業に参加いただいた方のアンケートから年齢構成等はわかりますので、この数値とは一致はしませんが、事業に参加いただいている方の年齢構成はお出しすることができます。

会長：

今、副会長がおっしゃった審議会運営規則が配られました。これはまた目を通しておいて下さい。この辺について副会長何かありますか。

副会長：

大丈夫です。

会長：

それでは少し長くなりましたけど、この会議に関してはもう一度開いていただいて、これまでのご意見を踏まえて議論して、より具体的に湖南市の文化芸術の振興のために実施する具体案に向けて話し合っ、それを 1 つの柱にして、実際の実現に向けて進む。そういう方向に向けていただきたいと思います。これは前回、計画を作ったときにこれだけでは駄目で、それをもっと具体的に実現していかなければならないということが、委員会で議論されて、それが出発点になっています。ですから、このままで終わってしまうと、前回までのやったことで終わってしまうので、どうかぜひその辺はよろしくお願ひしたいと思います。

それでは以上で、今のご質問、ご意見に関しては、一応終えたいと思いますが、さらに加えて何かご意見をおっしゃりたいことがある委員がおられたら遠慮なくおっしゃっていただければと思います。ありませんようでしたら、これで一応意見交換、質疑応答に関しては終わりとして、次の 2 番目の甲西文化ホールの改修について事務局から説明をお願いします。

事務局：

はい。続きまして、甲西文化ホールの改修についてのところに入らせていただきたいと思います。先日行いましたタウンミーティングで使いました資料を使って説明をさせていただきたいと思います。6 月 20 日と 22 日に「つくろうまちの憩い文化ゾーン」をテーマに、松浦市長と甲西図書館、甲西文化ホール、森北公園周辺の理想の未来について語るタウンミーティングを開催しました。両日で 49 人の参加者と市長、市役所職員と一緒に施設見学やグループワークを行い、憩い文化ゾーンについて様々なご意見をいただきました。甲西文化ホールについての意見は全部で 131 件ございました。今回のタウンミーティングは、甲西図書館と甲西文化ホールが令和 8 年度に予算要求をし、

改修をしていく予定となっており、そこに文化ゾーンとして森北公園もリンクさせて、一体利用できるような構想をつくるため、市民の皆さんの意見をお聞きする場として実施したものです。

それではちょっと簡単であります、甲西文化ホールの概要について説明をさせていただきたいと思います。甲西文化ホールは、昭和 61 年、西暦で言いますと、1986 年の 11 月に開館し、来年で 40 周年を迎えさせていただきます。これまで市の各種式典や市民の皆さんの発表の場、音楽や演劇など、文化芸術に触れる場として親しまれてきました。直近のホールのホール全体の利用実績は、ひと月当たりの利用件数は約 50 件。利用人数は約 1,800 人となっており、たくさんの方に使っていただいております。

次に、甲西文化ホールの現状と課題についてですが、現状としては、昭和 61 年の開館以来、大規模な改修を一度も行っておりませんので、建物や設備の劣化や老朽化が進んでおります。このことにより、利用者のニーズに合わなくなってきた部分や、安全面に不安が生じているのが課題として挙げられます。この課題の解決に向け、市では、令和 8 年度以降に大規模改修を予定しております。

続いて、甲西文化ホールが抱えている課題は、(1)劣化、老朽化に対応するため、安全性と機能性の向上が必要、(2)ユニバーサルデザインに対応できていない、(3)利用者のニーズに合っていない、という 3 つに分けられ、改修の方向性は、課題(1)に対しては施設の長寿命化、課題(2)(3)に対しては利便性の向上となります。改修をすることによって、これからも愛され、利用されるホールとなるよう、みんなが利用しやすいホール、誰もが利用したくなるホールにしていきたいと考えています。

それでは、ホール平面図をご覧ください。様々な課題がありますが、それにつきましては、この後実際にホール内を見学していただく中でご説明したいと思います。

なお、本日お配りした「甲西文化ホール利用者アンケート集計結果」は、今年 5 月から 7 月に甲西文化ホールを利用された方を対象に行ったアンケートの結果です。内容をご覧ください、また参考にいただければと思います。

そしたら、ホールの中の見学に行きたいと思います

(ホール内見学)

皆様、お疲れ様でした。甲西文化ホールの改修に関わる事務局の説明は以上でございます。

会長よろしく願いいたします。

会長：

どうもホールのご案内、ありがとうございました。それでは、皆さん、今いただいた説明あるいは見学も踏まえて、ご質問ご意見がありましたら、よろしくお願いします。

委員：

改修については、どこまで決まっているのかを教えてください。どこをどうするであつたりとか、いつからいつの期間ですのかとか、決まっていますか。

事務局：

ありがとうございます。資料に、今がどういうタイミングかを載せております。6月にタウンミーティングを実施させていただきまして、今、基本設計の段階となっております。昨年度に基本計画は作っていますが、それで決まりではなくて、タウンミーティングでお聞きしたこと、またこの審議会でお聞きしたことなどを、加味させていただいて基本設計を策定しておるところです。この基本設計が終わりましたら、実施設計に入っていきます、実施設計の途中で予算要求もございますので、そこで必要な費用を要求していったって、来年度から工事に入るという計画でございます。

今回、基本計画の段階で考えておりますのが、ロビーが大変狭く、普段もチケットをもぎるところがなく、例えば寒い時期とか暑い時期に外で待っていただくのは大変申し訳ないので、一旦ロビーに入らせていただいているんですが、チケットをもぎる段階になったら、一旦外に出ていただいて、風除室でチケットをもぎって、またロビーに入らせていただくということで、大変来場者の皆さんにご迷惑をおかけしています。できればロビーを広げて、チケットをもぎるスペースとホワイエがつくれたらいいなと考えております。その他、ロビーの増築に合わせてその部分にエレベーターとか、独立した展示室もつくれたらいいかなあと考えておるところです。増築をしたら、2階にもスペースができますので、うちで一番稼働率の高い練習室が増設できたらいいなあという計画をしておるところですが、別に決まりではございませんので、また皆さんのご意見をお聞きした上で、反映できる部分は反映していきたいと思っています。

委員：

いいですか。8年度から9年度にまたがって工事があるという感じですよ。その工事の期間中は施設の利用は。

事務局：

今の計画では多分できないと思っています。ただ段階的に、使えるのか使えないのか、基本設計の中で考えておるところです。

委員：

さっきの1番の議題にも関わってきますが、例えば、8年度のイベントについて次回の会議でという話をしていたと思いますが、8年度、9年度が利用できないのであれば、例えば、10年度、11年度を見越して、それまでの期間があるので、利用者が増えるようにどういったことができるのかとか、施設も新くなるタイミングなのでこういうことできるのではないのかという話し合いをしていったほうがいいのかなと思いました。

事務局：

ありがとうございます。8年度は利用できたとしても、上半期ぐらいまでと考えておりまして、来年半年で何ができるかというのを今企画をしておるところです。そのあと閉めなければならなかったら、例えば、アウトリーチを中心にやっていくのか、そういったところも考えているところです。

会長：

その点も含めて、計画を、次のときに示していただくというのが、この委員会としては、ものを考える上でありがたいと思います。

事務局：

はい、ありがとうございます。そのようにさせていただきたいと思います。

会長：

ホールに関しまして、他にご意見、ご指摘いただくことがありましたら、なるべく今のうちにいただいたほうが、今後、設計に対しての意見、ヒントになると思いますのでよろしくお願いします。

委員：

資料を拝見していると、どちらかというと、今こんな不具合があるから直すという感じが強い気がします。もちろんそれはすごく大事ですが、基本設計の段階でもうちょっと哲学というか思想をしっかりお考えいただけたらと思います。今ある、今使っているやり方で本当にいいのかどうか、今は違う役割が出てきているかもしれません。40年前というと、本当に市民の日頃の成果の発表の場であったり、あるいはアーティストの作品、舞台を鑑賞する場であったりということが強かったと思いますが、今劇場・音楽堂に求められる役割は、もっと多様化しています。特に平成29年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」ができて、その前文にすごくいいことが書いてあって、一言で言うと、ホールというのは、新しい広場というふうに定義されています。市民が、一緒に新しい価値を作っていくような場であるとされていますので、そういう意味でいくと、ただ単に最終的な発表の場であったり、娯楽を提供してもらって鑑賞する場であるだけじゃなくて、せっかく同じ時間、同じ空間を共有し、その感動を共有する場というのを、みんなが何かを作っていく、そんな場にしていくということが大事かなと思います。

そうしたときに、どんな事業を展開するかというと、単に貸公演的なものではなくて、例えば学校と連携して何かやろうということになったら、人数も多いし、ブラスバンドを呼んできたら、でっかい楽器とかをいっぱい持って来られるので、楽屋とかも足りなくなるから、増築的なもので広いスペースを設けるとか、公園の再生もされるのであれば、図書館とかを含めて全部で利用できるような場を整備するとか、そんなこともあるかもしれません。ちょっとアンケートにも出ていましたが、ホールの中だけで言うと、入ったところが即ロビーで、ただ単に舞台を見に行く場ということですから、そのあと感動を共有するような、何か語り合うような場がいてかですね、市民がもっと広く、日頃から交流できるようなロビー、ホワイエみたいなものが要るのではないかという理屈づけみたいなものを、さっきご紹介した「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」も今一度確認いただいて、改めてホールのミッションというものを、より高い次元で確認をしていただけたらと思います。

会長：

他にご意見ありませんか。

委員：

すいません。増築について、建物の見た目はそのまま増築されるのか、増築ってどういうイメージを持ったらいいのでしょうか。

事務局：

西側の駐車場になっている部分に増築を計画しております。増築部分にロビーをつくって、今のロビー部分をホワイエとして利用することを考えています。そして、増築によってできた 2 階部分に練習室を増設したいと考えています。

委員：

駐車場の部分、この道路と建物間のところに増築するという感じですね。増築すると、2 階部分も広くなるから、練習室も作れたらいいということですね。

基本、どちらのホールも、もともと町立なので舞台とリハーサル室のサイズが違いますが、20 年ぐらい前に建てられたホールになると、舞台のサイズとリハーサル室のサイズが一緒です。練習室もピアノが置いてある練習室と、持ち込みの楽器の練習ができる練習室があって、2 つをつなげたら吹奏楽団がみんな入って練習できるぐらいのサイズになるというの也有ります。でもちょっと増設部分だけで考えると、厳しいのですが。ピアノの置いてある練習室があると、一般向けに 1 時間 1,000 円とか 2,000 円とかで貸館をすると、このあたりは楽器店も全然ないし、水口の楽器店でもそういう貸館はされてないから、楽器の演奏とか練習する場所が欲しいって思うと、利用者は増えると思うし、収入にもなります。

事務局：

ありがとうございます。近隣市のホールに見学に行くと、やはり練習室をいくつか持たれているところが多くて、防音をしたことで利用の幅が広がったというお話も聞いてます。うちは残念ながら、今防音をしている部屋が 1 つもございませんので、今回の改修では、防音にも手をつけられらなあと考えています。今も、例えば吹奏楽のイベントとかになりますと、次の団体が練習室で音出しをしているのが、本番の舞台から聞こえてくるという、ちょっとありえないことが起こってますので、そういう残念なことはないようにしていきたいなと考えているところです。

会長：

今のお話は、平面図の左側のほうが増築される部分になるのですか。

事務局：

そうです。今で言う展示室から楽屋あたりぐらいまでの範囲で増築をできたらなあと考えております。

会長：

その範囲の左側に増築されるのですね。何㎡くらいですか。

事務局：

調べて、あとでお答えさせていただきます。

委員：

道路まではいかないのですね。

事務局：

道路まではいかないです。

事務局：

よろしいですか。1 点だけ説明が漏れているのですが、先ほど憩い文化ゾーンとして森北公園と図書館と一体的に、さらには庁舎の整備とも併せてこの一帯の改修を行っていきますと申し上げました。実は、甲西図書館も今リニューアル構想を策定していきまして、市民のニーズをお聞きしながらリニューアルをしていきます。それに当たりましては、この甲西文化ホールと甲西図書館が相互利用できるような、何か機能を持ち合わせて、使い分けができるように、それも一緒に検討していくことになっていますし、森北公園も一体に使っていただけるような、そういうイメージのことをタウンミーティングで市民の皆さんにお伺いをしました。ですから、そういったご意見を反映して、この改築も検討していくということでございます。それが今基本設計で生かされて、大体、今年の 9 月末ぐらいまでに基本設計ができるということです。

事務局：

すいません。先ほどの増築部分の床面積ですけれども、1 階部分が 360 ㎡ほど、2 階部分で 160 ㎡ほどを想定しております。

会長：

他に何かご意見はありますか。もしないようでしたら、これで本日の予定の議事はすべて終わります。よろしいですか

では、委員の皆さん、ご協力いただきましてどうもありがとうございました。次回、より具体的な計画が提出されると思いますので、忌憚のないご意見をお願いします。本日はどうもありがとうございました。

では、進行を事務局に戻します。

事務局：

会長、円滑な進行をいただきありがとうございました。また、委員の皆様には、貴重なご意見をちょう

だいしましてありがとうございました。本日いただきましたご意見を整理させていただきまして、計画の進捗管理や甲西文化ホールの改修、またこの審議会のあり方や今後の運営の仕方につきまして、内部できちっと検討させていただいて反映させていただきたいと思っております。

次第ではですね、この後、その他ということになっておりますが事務局のほうから少し案内をさせていただきます。

(案内)

こちらからのご案内としては以上です。委員の皆様から何かご意見とかご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

はい。では最後に副会長から閉会のご挨拶をお願いします。副会長よろしく願いいたします。

副会長：

(挨拶)

事務局：

どうもありがとうございました。以上で本日の会議を終了いたします。委員の皆様、長時間ありがとうございました。気をつけてお帰りください。